

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 地歴科 科目 地理総合

教科：地歴科 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1組：渡辺浩章）（2組：渡辺浩章）（3組：渡辺浩章）（4組：渡辺浩章）（5組：渡辺浩章）（6組：渡辺浩章）

使用教科書：（高等学校 新知路総合（帝国書院）・新詳高等地図（帝国書院））

教科 地歴科 の目標：

【知識及び技能】

世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を知る。

【思考力、判断力、表現力等】

地理に関わる事象の特色や相互の関連を、位置や分布、自然環境、地域などに着目して多面的・多角的に考察したり、考察したことを効果的に説明したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについて理解を深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を知る。	地理に関わる事象の特色や相互の関連を、位置や分布、自然環境、地域などに着目して多面的・多角的に考察したり、考察したことを効果的に説明したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについて理解を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	現代世界の国家と領域	・現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。	観察 ノート 発言 話し合い活動	○	○	○	5
	グローバル化する世界	・現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	観察 ノート 発言 話し合い活動	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	地球上の位置と時差 地図の役割と種類	・日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 ・地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。	観察 ノート 発言 話し合い活動	○	○	○	8
	世界の気候と人々の生活	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 ・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	観察 ノート 発言 話し合い活動	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	世界の言語・宗教と人々の生活	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を	観察 ノート 発言 話し合い活動				

2 学 期		与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 ・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	話し合い活動		○	○	○	9
	定期考査				○	○		1
	歴史的背景と人々の生活 世界の産業と人々の生活	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 ・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	観察 ノート 発言 話し合い活動		○	○	○	10
	定期考査				○	○		1
3 学 期	世界の産業と人々の生活	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 ・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	観察 ノート 発言 話し合い活動		○	○	○	8
	自然環境と防災	・我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 ・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	観察 ノート 発言 話し合い活動		○	○	○	8

	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 地歴公民 科目 歴史総合

教 科： 地歴公民 科 目： 歴史総合 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組
教科担当者：（1組：加藤） （2組：加藤） （3組：加藤） （4組：加藤） （5組：加藤） （6組：加藤）
使用教科書：（新選歴史総合（東京書籍））

- 教科 地歴公民 の目標：
- 【知識及び技能】 近現代の諸事象について、世界とその中の日本を相互的な視点から捉え、諸資料から歴史に関する情報を調べまとめる技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 諸事象を多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握・考察・構想したことを説明したり、議論する力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養うとともに、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：諸事象の因果関係や、世界と日本を広い視野で捉え、近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切にまとめる技能を身につける。	諸事象の意味や歴史的意義、特色などを、比較・推移・相互の関連等に着目しながら考察し、課題について考察する力を身につける。	諸事象についての課題を主体的に追求・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通して、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	①18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響に着目して、経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを考察し、表現する。 ②産業革命や国民国家の形成の背景や影響に着目して、政治や経済の変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを考察し、表現する。	「アジアの繁栄と西洋近代の形成」 18世紀の東アジア 結びつくアジア諸地域 18世紀のヨーロッパとアジア 市民革命と近代社会 産業革命のはじまり 世界市場の形成	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	4
			小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
		自由主義とナショナリズム 東アジアの国際関係の変化と日本の開国 アジアの諸国家とその変容 明治維新と東アジアの国際関係 立憲制の広まり 世界経済の変化と日本の産業革命 帝国主義と植民地 日清戦争と華夷秩序の終結 帝国主義諸国の競合と国際関係 植民地支配と植民地の近代 20世紀はじめの世界	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	6
			小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。	第一次世界大戦の展開 国際協調体制の形成 ソヴィエト連邦の成立 アメリカ合衆国の台頭 アジアの経済成長と移動する人々 反植民地主義の高揚と国際秩序の変容	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。	民主主義の進展と社会変革の動き 大衆化を支えるテクノロジー	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	6
	世界恐慌、ファシズムの伸長、日本の対外政策などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、国際協調体制の動揺を理解している。	世界恐慌 アジア・アフリカと大衆社会 国際協調体制の崩壊 日中戦争と深刻化する世界の危機	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア	第二次世界大戦の展開 連合国の戦後構想	小テスト 課題				

3 学 期	諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、諸資料から歴史に関する情報を適切にまとめ、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。	アジア太平洋戦争と日本の敗戦 連合国の占領政策 再編されるアジアと冷戦	討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	9
	脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、国際政治の変容を理解している。	冷戦の拡大と第三勢力 キューバ危機と核兵器の管理 脱植民地化の進展と地域紛争 計画経済と開発	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計
							70